

令和8年2月24日受付「作東バレンタインホテルの建物売却に係る公募型プロポーザル」に関する質問がありましたので、下記のとおり回答いたします。

記

Q1. 運営コストと公租公課について

① 過去の実績に基づく、光熱費（電気・ガス・水道）の1ヶ月あたりの平均額

A. 平均で月額100万～120万円となっています。

②本施設にかかる固定資産税の概算

A. 令和6年度の固定資産評価額を仮評価すると、年額350万～550万円となります。

③土地利用料の有無、および発生する場合の算出根拠

A. 土地利用料の有無については、契約条件に応じて設定する予定ですので、今後協議となります。

Q2. 近隣住民の皆様から寄せられているご要望や、運営上の課題（苦情等）について

A. 地域からは、現在のホテル事業の継続を望む意見が一定数ありますが、本公募においては、地域住民及び観光客の利用に供し、地域活性化に資する提案を広く求めています。

Q3. 建物の「部屋同士の遮音性（防音性）」と「外気に対する断熱性能」について（市の評価や過去の利用者からのフィードバック）

A. 市として遮音性能・断熱性能に関する定量的な性能評価は実施しておりません。

遮音性及び断熱性能に関する利用者からの苦情等の声は聞いておりません。

Q4. 近隣エリアにおいて、ソーラーパネルや風力発電施設等の設置、大規模な開発計画の予定の有無について

A. 現時点で、大規模開発の予定はございません。